

平成29年度第1回加美町総合教育会議議事録

開催日時 平成29年6月1日（木曜日）
午前11時15分～午前11時53分

開催場所 小野田公民館2階 小会議室

出席者 加美町長 猪股 洋文
加美町教育委員会委員長 大場 幸 同 委員 田中 美知子
同 委員 鎌田 稔 同 委員 大宮 信彦
同 教育長 早坂 家一

事務局 加美町副町長 吉田 恵
総務課長 佐藤 敬 教育総務課長 二瓶 栄悦
同 課長補佐 伊藤 一衛 同 課長補佐 川熊 裕二

議 題

旭小学校を宮崎小学校に統合することについて

午前11時15分 開会・開議

○佐藤総務課長 只今より平成29年度 第1回 加美町総合教育会議を開会致します。本日進行を務めさせていただきます、私、総務課長の佐藤でございます。よろしくどうぞお願い致します。

それでは初めに、猪股町長よりご挨拶を頂きます。

○猪股町長 みなさん、おはようございます。お忙しい中、皆様にはご出席いただきありがとうございます。また日ごろ、加美町の教育環境の向上、子供達一人一人の発育、成長のためにご協力、あるいはご努力頂きまして心から感謝を申し上げます。

今日、旭小学校を宮崎小学校に統合するという議題で議論させて頂きたいと思っておりますけども、この統合については、長い時間をかけて、住民と向き合って進めてこ

られた経緯に心から敬意を表したいと思います。これからも子供達を中心に、より良い教育環境を作るための努力をしていきたいと思っております。

また、それとは別でありますけど、現在、加美町ではパラリンピック・オリンピックの事前キャンプの誘致活動をしております。2001年の大会で使われたレーシングカヌー場がありますし、それから中新田高校、中新田中学校の子供達も一緒に頑張っておりますので、ぜひ誘致をし、もちろん町の活性化に繋がりたいという思いもありますし、さらに子供達にとって、一流の選手の姿、あるいは障がいを持ちながらもカヌー競技に打ち込んで選手の姿をぜひ見せたいと思いますし、教育上、非常に大事な事なんだろうというふうに思っておりますので、取り組んでいきたいと思っております。

お陰様で、日本カヌー連盟の成田会長からも「ぜひ協力致します。」というお話を頂戴しておりますし、障がい者カヌー連盟の吉田会長からも「協力します。」と。7月に加美町に「場所を見に行きますから」というふうなお話も頂いておりますので、是非これも進めていきたいと思っております。また障がい者カヌー連盟の吉田会長から言われた事は、障がい者カヌーの競技人口というのは日本国内で20人しかいないんだそうですね。それで障がい者カヌーの競技人口を増やしたい、選手の発掘も今しているというところなんですね。ですから、できれば加美町としてもですね、そういった障がい者、加美町に在住している、していないに拘わらずですね、要するに「カヌーに取り組みたい」という障がい者を発掘したいなと思っております。今、県社協の方にもお話をしているところなのでございますけども、できれば加美町が、障がい者カヌーのメッカといいますか、なるようにしていきたいという風に思っております。何かと言いますと障がい者、まあ下肢障がいですね。ある方でも、カヌーに乗ってしまえば、自分が障がい者である事を忘れて打ち込む事ができる競技なんですね。実際、吉田会長も一番最初にモンベルが主催した競技会、これはカヌーの練習会といいますか。普及のための会に参加した時に、2時間も漕いでいてなかなか陸に上がってこなかった。上がってきたらですね、陸に上がってきたらですね、辰野会長に対して「自分が障がい者だという事を忘れていました。」と仰ったらしいんです。ですから、そういう意味ではですね、下肢障がいのある方にとっては、私は非常に素晴らしいスポーツなんだろうという風に思っておりますので、併せてそれをきっかけに、オリンピック・パラリンピックをきっかけに、そういった障がい者カヌーというものを、加美町を中心に普及していければ良いのかなというふうに思っております。

これからは、体育振興室を中心に、そういった取り組みも是非これから進めていければなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

○佐藤総務課長 ありがとうございます。それでは直ちに議事に入りますが、それでは町長の進行で会議を進めていただきます。

旭小学校を宮崎小学校に統合することについて

○猪股町長 それでは、旭小学校を宮崎小学校に統合することについて、教育委員会の方から説明をいただきます。

○早坂教育長 それでは、私の方から概要をお話したいと思います。

教育委員会で平成24年2月に加美町立小中学校再編の基本方針を決定しまして、その後、保護者・地区住民の皆さんを対象に説明会・懇談会をやってきました。しかし、保護者・地区住民の方に十分な理解を得られないという事で、平成27年4月の統合については見送るという事を決定しました。その時にですね、平成27年4月の統合自体は見送るけれども、学校再編の基本方針、それは変えない。そして今後、説明会を開催して複式学級の解消に努めていくという事を、前教育長が保護者・地区の方に話をしております。

しかし、最終処分場等の問題もありまして、町民の方、それから旭地区の住民の方が、処分場建設阻止に全力で取り組んでいる時に、学校再編の問題を出す時期ではないという事で、しばらくの間は控えておりました。その後、処分場の問題もだいたい目途がついて、やはり、いつまでも子供達にとっては、旭小学校、いつまでも複式の状態で置くのはやはり問題があるという事で、学校再編の基本方針、今までの基本方針に基づいて再度、懇談会を開始してきました。その懇談会の中ではですね、また一番初めに保護者の理解をもらう事を優先しようという事で、改めて複式学級の実態と課題。それから、児童数の減少に伴って、今の状況を維持できなくなってきましたよ、という事を中心にご説明しながらご理解を求めてきました。その時に委員会の方で、いつ統合しますという期日は示さなかったんですね、前回の反省もありましたので。ところが懇談会の中で、もっとこれから入ってくる子供達の保護者の意見も聞くべきだという事と、委員会の考えを、いつ統合するのか示してほしいとの話がありまして、在校生と未就学児の保護者にアンケートを取らせて頂きました。その結果をもとにして、委員会の方で平成31年4月1日に統合したいという案を保護者の方に説明をしまして、ほぼ了解を得て、そのあと地区懇談会で説明をしまして、ほぼ了解を得たという事で、5月29日の教育委員会の5月定例会で、その懇談会の様子を私の方からお話ししまして、旭小学校と宮崎小学校は平成31年4月1日に統合するという事を教育委員全員で確認をしております。

日程的には本当に今がギリギリの時期かな、あるいはこの時期に明確にしないと

ならないのかなと考えております。あと詳細についてはこの後、二瓶課長から説明がありますので、それを聞いて頂いて、猪股町長の判断をぜひお願いしたいなと思います。

○二瓶教育総務課長 それでは、本日お手元の方に、資料をお示しをさせて頂いております。まず教育長のお話と重複する部分もございますけども、これまでの経緯等をご説明させて頂きます。

まず、学校再編の基本方針という事で、その中で小学校の再編についてという事で、適正規模の教育環境を整える事が大事であるという事で、具体的にはですね、複式学級の解消を図りたいという事で平成24年にこの学校再編の基本方針を掲げさせて頂いております。

上多田川小学校を広原小学校、鹿原小学校を東小野田小学校に、旭小学校を宮崎小学校に統合したいという事で、統合の時期としては平成27年の4月1日という事で掲げさせて頂いております。

旭小学校につきましては、先ほど教育長からもお話があった通り、残念ながら平成27年の4月1日という事は見送りをさせて頂いております。

これまで保護者あるいは住民の方々に対する説明会を合わせて16回程開催をさせて頂いております。その内訳は資料の方に載せてございますけども、途中、意向調査を実施させて頂いております。最初の意向調査が平成25年の10月に、保護者・未就学児それから区長さんを対象にアンケート調査をさせて頂いておりますが、賛成15名、反対10名という結果でございます。これを基に再度、地区の方々に説明をしたようにございますが、残念ながらご理解は得られなかったという事で先送りしたという状況でございます。

昨年、保護者との懇談会の中で、教育委員会として早く統合時期をもう一度示して頂きたいとの事で、それではもう一度アンケートを取らせて頂きたいという事で、昨年の12月から今年の1月にかけて実施をさせて頂いております。

この内容についてはこの次にまたご説明しますが、②の「旭小学校の統合」についてでございますけども、現在、旭小学校の児童数がどのような事になっておるかという事で、地区の懇談会の席上でですね、私どもがお示しをさせて頂いた資料を本日、同じものをご提示させて頂いておりますが、この中の6ページをご覧になって頂きたいと、カラーのページでございますけども。現在、旭小学校の児童は平成29年度5月1日現在で23名という事になってございます。これが来年になりますと20名に減ると、さらに平成32年以降は13名まで減少するというので、児童の推移を考えてございます。

このような中で、ひとつは1人だけの学年がもう発生してきているということ。それから同じ学年に、同級生に異性がない、または同級生が1人だけという状況

が来年度以降、各学年で発生していくという状況になるということをご説明させて頂いております。

次に保護者等の意向調査の結果でございますが、詳細については資料27ページ以降に載せてございますが、その概要をまとめたものがですね、同じく3ページの方にまとめさせて頂いております。結果としまして、回答者の7割以上の方が統合に賛成という事で「1日も早く統合して頂きたい」という内容のご回答を頂いております。残念ながら、回収率としましては3分の2にとどまったという事でしたが、未就学児を抱えている方々の回答率は非常に高いという結果でございました。

このような状況を踏まえまして、教育委員会として内容等を協議したものが2ページ目に載せてございます。(3)の統合時期について事でございますが、アンケート調査を基にですね、どの時期が適切なのかという事で、いろいろ協議を頂いた結果ですね、児童の環境変化への対応という事で、やはり統合予定校の児童の交流に2年程度は確保したいという事と、併せまして、統合決定1年前から各学校にそれぞれ教員1名を増員し、統合後も1年間は教員1名を増員加配するという事でございます。やはり人事関係でございますので、これはかなり早めに県の教育委員会の方に頭出しといたしますか、手を挙げないと間に合わないだろうという事で、やはり2年前からはもう着手しなければ間に合わないだろうという事が想定はされるという事でございます。

二つ目として、学校間での調整期間の確保という事でございますが、学習規律や、生活規律等に関するルール、生徒指導の方針基準、あるいは教育課程の編成と、両校の特色、良さを活かすためには小学校間での調整にやはり2年というのは確保しなければならないだろうという事でございます。

これらを踏まえまして、保護者の方々の意向調査では、平成30年4月1日の統合という意見が大変多かったわけでございますが、教育委員会としましては児童の交流なり、学校間の調整期間等を考慮すると平成31年4月1日が望ましいんではないかという事で考えてございます。

今後の手続きと致しましては、本日、総合教育会議を開催して頂いているわけでございますが、この中で協議が整えばという事でございますが、教育委員会の方で条例改正の議決、それを踏まえまして議会に対する全協への説明、それを終えた上で議会に対しての条例改正の提出という事で、可決という条件ではございますが、可決したらば再度、地区の皆様方にご説明をする機会を設けたいという風に考えてございますし、それでもって今度は旭、宮崎のPTAの方々を中心にですね、今後のスケジュールなり具体的な内容等のご説明をしたいというふうに考えてございます。

併せましてですね、同時並行としまして、跡地の活用の検討も入りたいと考えてございます。それ以降、両校の準備、それから児童の交流・学習を踏まえて、平成31年4月1日に統合したいという事で、案としてお示しをさせて頂いてございます。

教育総務課の方からは以上でございますので、よろしくお願いをしたいと思いません。

- 猪股町長 ありがとうございます。そうすると、これからの手順として、この会議で協議することで決定をし、教育委員会にかかると。その後、全協で議会に説明すると。このスケジュールで行くといつ頃になる予定ですか
- 二瓶教育総務課長 まず全員協議会でございますが、今、予定しているのは今月5日に開催されるという事なので、そこでご説明をさせて頂く機会を設けていただきたいという風に考えてございます。
- 猪股町長 6月議会に条例改正を提案するのか。
- 二瓶教育総務課長 全員協議会の状況をみた上でという事でございます。
- 猪股町長 そして地区住民や保護者への説明会。このスケジュールで行くと児童の交流、合同ワークというのはいつ頃から始めるのですか。
- 二瓶教育総務課長 出来れば2学期から入りたいと。それをするために、夏休み期間内は各学校間でも調整等をしないと厳しいだろうとは考えています。
- 猪股町長 はい、わかりました。

教育委員の皆さんはこれを見ますとね、児童数の32年度からはずっと13名でしょうからね。

これを見ますと保護者からも7割以上が賛成ということでもありますから、大方のご理解をいただいたということでしょうね。そういうことであれば、早めに統合に向けて進めた方がよろしい感じですね。31年4月1日統合ということを進めてよろしいかと思えます。よろしくお願います。

あとは、保護者の方々がご心配してらっしゃるように、子供達の交流ですよ。これをきちんとやっていただいて、子供達が、宮崎小学校に安心して31年4月から通えるようにということですね。そこが一番大事でしょうから、まあ、広原小学校の場合は、1年間でしたのでちょっと、やっぱり、短いなという感じはありましたね。

- 早坂教育長 あとでアンケートを取ったんですけども、やはり、1年間では短かったという声が出ておりましたね。
- 猪股町長 そういう感じはしますね。1年半必要でしょうし、やはり何人かは馴染むまで時間がかかっているようですからね。不登校にまではならなかったんですかね。ちょっと難しい感がありますね。

○早坂教育長　そうですね。なかなか馴染めなくて登校できなくて学校の方で保護者の方ともいろいろ連携を図りながら何とか学校には通えるようになった。

○猪股町長　完全な不登校にならないで済んだんですね。

そういった危険性もありますからね。とくに、やはり上多田川小学校もそうでしたし、旭小学校もそうですし。非常にある意味では恵まれたというか、手厚く、先生方、地域の皆さんの手がかけて育ってますからね。まあ、それが当たり前と思っているのしょうから、少し大きなといいますか、いってもそれ程大きな学校じゃないですけども、宮崎小学校もね、何か戸惑いなんかもあるのしょうから、十分そこは配慮して統合に向けて準備を進めていただきたいと思います。

他に何か、副町長から何かありますか

○吉田副町長　今度の議会の最後に今日の結果を見て。本当はここにあるようにどのように活用していくのかということに合わせて企画を進めてやっていくと。

○猪股町長　議員さんから、そのあたりも出るでしょうね。

○早坂教育長　やはり、懇談会でも統合したときの旭の子供達への配慮のことが出ましたし、どのように対応していくんだということが出ましたし、また、跡地の利活用をどうするんだ。その時に、できるだけ早く町の方で考えて欲しいという意見が出たときに、一緒に参加している方から、それは違うんじゃないかという意見が出されまして、全部行政に任せるというのではなくて、自分たちの事だから、あの時も25名だったんですけども、もっと集めたいと、統合後の活用の話し合いの時にはいっぱい集めて欲しいという要望がきたんですね。それは、そうじゃなくて、地域住民が自分たちがもっと声がけして、もっと集めて自分たちの事として考えていくべきじゃないかという意見が出されました。会場にいた人はうなずきながら聞いてましたね。よかったなと思って聞いてました。

○猪股町長　協働のまちづくりの方で、いま、新たな協議会みたいなものを作って進めてますので、そういった動きと連動させていくということはいいいんでしょうね。今委託しているんですが、今年度中に、町は何を考えているかといいますとですね、これからの新しい住民自治という事を考える上で、小学校区単位でそういった組織を作って、住民自治というものを進めていくべきだというふうに考えているんですね。

ですから、さまざまな教育もしかり、福祉関係もしかりですね、いろいろ行政が提供しているサービスというのに対して、自分たちが主体的となってできることはやっていこうというふうにですね。自分たちが課題を見出して自分たちで自己決定をして、そしてやっていく。いずれは、そのための予算措置もですね、町としてやっていく。そういった中でモデル地区として、旭地区と賀美石地区をですね、モデル地区にしてですね、特に旭地区に協働のまちづくり推進課の職員も入り込んで

すね、いろんなディスカッションしながら、地域の新聞なども作りながら進めているところですよ。

さらに、今年度中にすね、島根県の持続可能普及センターってあるんですけどもね、中国地域の自治体が出資をして作っている研究センターですけども、そのフジモト先生にお願いをして、79行政区のそれぞれの地方創生の戦略を作ってもらいたいということですよ。今の状況がこのままだとすね、どれだけ人口がどう推移していくのか、将来この地域がどうなっていくのかきちんと示していただくと同時にこの人口減少を止めるためにはどういう事をすればいいのか、例えば、1年に1つの、例えば3人家族の1家族が移り住んでくれば人口減少は止まりますよ。具体的な目標まで示したいと思っております。10年前からすね、島根県では取り組んでおまして、現在島根県の確か3分の2の自治体では5歳以下の子供の減少が止まったんですよ。中には増加に転じているところも出てきているという事ですよ。そういった実績のある研究センターでありますけれども、そういった具体的な目標も示したいと、処方箋ですよ、その地域のこれからの活性化の処方箋を示したいと思っております。

それに基づいて79行政区それぞれ小さいところもありますので、それを一つのコミュニティという旧コミュニティありますけれども、その中ですね、皆さんで取り組んでいただくというふうな取り組みに絞っていききたいなあと、こう思っております。旭地区の場合は、その地区コミュニティの中で旭小学校の跡地は、非常に、私は大きなウェイトを占めるんだろうというふうに思いますので、そういった視点ですね、旭住民からすねこの目標を達成するためにこう活用していこうというふうな方向でいっていけば一番いいかと思っております。

あと、さらに申し上げますと、社会教育委員の会の方から、博物館の統合という答申もいただいておりますので、そうなりますとおそらくすね、私も学芸員の方などからも話は聞いておりますが、今の切込焼記念館に集約するというのは難しいだろうと思っております。一番は、あの施設が博物館として適していないということですよ。木造なものですから、どんどん木もやせてきておまして、そして木造ですと調温、調湿といったものを図れない。更に木には隙間が出てきてますんで、埋めてもすねカメムシが中に入ってきてすね、来た方がびっくりするくらいカメムシが張り付いているという状況ですよ。それからやはり学芸員さんの方も切込焼記念館の学芸員さんのかたも、そこに愛着あるけどもやはり多くの方に見ていただくためにはやはり町場といいますか、交通の便のいいところに設けるべきじゃないですかというお話しもいただいておりますので、それからスペース的にもあそこに全部集約のスペースがありませんので、そうこう考えますとすね、中々あそこにこれからも切込焼記念館には町の総合博物館ということで利用していくのは難しいだ

ろうというふうに思っております。

そうしますとこの建物をどうするのかということもですね、近い将来出てくるんだらうと思いますので、そういうことも含めて、地域の方々にですね持続可能な地域にすると、そういったことに活用するというのもですね。まあ、一緒にわれわれもね、やっていきますけれどもね、そういうことが大事なんだらうと思います。

他には、教育委員さんからおっしゃりたいことは。

- 大宮委員 広原小学校の運動会に行ってきたんですけども、やはり1年生が多くなったんですよ。それは、やはり住宅地域ができたということで、子供達が増えて1年生の子が増えたということで地域の方々が喜んでらっしゃったんですよ。ですから、先ほど町長がおっしゃったとおり、子供が増えないとどうしても学校が廃れていく、活性化がなくなっていくというね。

あともう一つお話しに聞いたのは、上多田川小学校でしばらくの間暗かったんですよ。夕方とか、そうしたら、国立音楽院が来て、明るくなって電気が付いてるということでも、地域住民の方が喜んでると、ですからそれを考えると跡地利用というのは、なるべく間を開けないでどんどん進めていただければなと感じた次第です。

- 猪股町長 ちなみに、子育て向けの宅地分譲は、来年度は、小野田の下原ですね、下原の元のソニーに13区画、広原は16区画、平均70坪だったんですが、今回小野田の場合はどうしても雪が降りますんでね、やっぱり雪を溜めておくスペースも必要ですから、今回100坪以上13区画、東小野田小学校がそれに近いし、商店街、条件としてはいいだらうと思っています。引き続き大宮委員が言ったように子供の声が聞こえなくなりますとですね、地域もさびしくなりますから。その努力をやっていきたいと思えます。

- 大場委員長 平成24年から統合を進めて、話し合ってきたわけなんですけども、やっぱり、今までアンケートを取っても同じ事が言われていたのが、早く統合して欲しいという声が多かったんですよ。一部の方の住民とか同じような方の反対でなかなか出来なかったわけなんですけども、やっぱり本当の意味で子供達が……。私ある親から言われたことなんですけども、なんで宮崎は、幼稚園と一緒に小学校で分かれて、また中学校で一緒なんですかと。今回の事できちっと適正に、こういう環境を整えてあげたっていうことはよかったんじゃないかと思えます。是非進めていきたいというふうに思っております。以上です。

- 猪股町長 25年の時には、反対が10人もいましたしね。それも、やはりこのタイミングでは、まだ期が熟していなかったといいますか、そういう意味では、だいぶ時間はかかりましたけれども、その間状況は大分変わったなど、教育委員の皆さん方が時間をかけて、粘り強く説明し、資料もきちんと作っていただいて、住民の

方々もご理解をできるような、環境をつくってきたことに感謝したいと思います。
なければ、これでよろしいでしょうか。

○佐藤総務課長 ありがとうございます。

それでは、第1回の総合教育会議の閉会にあたりまして、大場教育委員長さんから、ご挨拶をいただきます。

○大場教育委員長 今日の教育会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。
す。

まず、今回ですね、教育委員会でも十分いろいろお話しされていたことがなんとかここまでとりつける事ができました。今日も猪股町長のご理解を得て、また、一歩前へ進めていきたいと思いますので、ひとつ、皆さんよろしくお願いします。

今日はこの会議に参加していただきましてありがとうございました。

○佐藤総務課長 以上をもちまして、平成29年度第1回加美町総合教育会議を閉会
させていただきます。大変ありがとうございました。

午前11時53分 閉会